

スケートボード

東京 2020 大会で正式な種目となるスケートボードに近年爆発的に人気が集まってきました。一般的な競技スポーツと比べて危険が多いと考えられ、スケートボードは「エクストリームスポーツ」の一つです。スノーボード、サーフィン、スカイダイビング等も代表的なエクストリームスポーツです。



スケートボードの由来はサーフィンにあります。波がないときに、コンクリート上でサーフィンが出来るように、板に車輪を付けて「サイドウォークサーフィン」(歩道サーフィン) がうまれました。最初はサーフィンの代替的な遊びでしたが、だんだん別のスポーツになりました。



最初のスケートボードは普通の四角い板でしたが、形がだんだん代わり、できることが増えてきました。現代的なスケートボードの板、いわゆるデッキ、は真ん中が窪んで前端と後端が円くなって上に曲がっています。この形になったことにより足で蹴って回したりすることが簡単になりました。車輪はウレタン製であり、玉軸受けで回ります。軸とするトラックは一般的に鋼鉄製です。

スケートボードが進化するにつれ、縁石に乗ってトリックをしたり、ボードを 90 度に回転して車輪を滑らせたりするようになりました。ランプという傾斜を飛ぶことができるようになったらスケートボードコンテストも正式に始まりました。

現在のスケートボードは技、いわゆるトリック、の種類がとても多いです。足を使い、ボードを回転させたり、ボードと一緒に飛んで体を回転するトリックや、後ろの輪のみでバランスしたり、輪の軸とする「トラック」で手すりの上に乗ったりするトリック、ランプで飛ぶトリック、沢山です！

東京 2020 オリンピックではパークとストリートという 2 つの種目があります。パークというのはスケートボードのために作られている窪地状のコースで行われます。窪地の周りの曲面の傾斜を使いスピードを上げて、曲面をのぼって飛んで、空中でトリックをしたり、曲面の上部を沿う縁で「グライド」というトリックをします。スピードが速く、ジャンプが高く、目をそらすことが出来ません！

もう一つの種目はストリートです。ストリートとは、普通に街にあるものを使いトリックをするストリートスケートボードに基づき築いたコースで競う種目です。脚のパワーだけでボードと飛んで、手すりや階段、ベンチ等でボードを回転したり、グライドしたりします。

東京 2020 オリンピックのスケートボード出場は世界ランキングにより決まります。ランキングはストリートリーグスケートボード、DEW TOUR、ワールドスケート等の大会での成績に基づいています。現在ストリアートのランキング 1 位はアメリカの Nyjah Huston 選手ですが、それに 2 位の堀米雄斗選手がせまっています。堀米選手は 2018 年に初のストリートリーグで優勝した日本人となりました。また 4 位は白井空良選手がいます。女子ストリートランキングでは西村碧莉選手が 3 位です。パークの女子ランキングは日本人が上位を独占しています。13 歳の愛知県出身である岡本碧優選手がだんとつに 1 位、四十住さくら選手が 2 位です。こんなに多くの強い日本人選手が活躍していて、母国で行われる東京 2020 大会でどれほど素晴らしい成果を見せてくれるのでしょうか、楽しみに観てみましょう！